

長野地区社保協(社会保障推進協議会)ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)

長野地区社保協・活動報告

介護の要望をつたえる 政党懇談を行いました

長野医療生協介護ウェブ推進委員会と共同行動

長野地区社保協の介護委員会は、参議院選挙を前に各政党に介護の要望を伝えるために、各政党に要請書を郵送し懇談を申し入れました。社民党、共産党、立憲民主党と懇談が実現。長野医療生協の介護職員らで構成する介護ウェブ推進委員会(介護ウェブ)との、共同行動です。介護ウェブは利用者家族や現場職員の声を編集した動画を作成。懇談時にそれぞれ視聴もしました。

要請書は介護保険制度の抜本的改善を求めるもので、要請項目は以下4点です。

1. 安心して介護サービスを提供できるよう新型コロナウイルス感染症対策を強化すること
2. 介護保険料・利用料負担の軽減やサービスの拡充など介護保険制度の抜本的な改善を行うこと
3. すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで引き上げ、その財源は全額公費負担でまかなうこと
4. 介護保険財政における国庫負担割合を大幅に引き上げること

7日の共産党に参加した、労協ながのケアマネジャーの伊藤さんは、「顔を拝見しながらのお話が出来たことで少しでも、今の介護業務の大変さが伝わると良いと思います。私たちも、こうして伝える場でしっかりと伝えて行く大切さを実感いたしました」と述べています。



6月3日社民党(右端・布目裕喜雄長野市議)



6月7日共産党(左上・武田良介参議院議員)



6月11立憲民主党(奥・篠原孝衆議院議員)

11日の立憲民主党に参加した、老健ふるさと介護職員の丸山さんは、「補足給付の見直しについて話を致しました。…伝え続けることで1人の声がどんどん大きな声になっていき、私達の思いが伝わると信じてこれからもこういった活動を続けていきたい」と述べています。